

---

# DM-3200 DAW Control

## HUI emulation for Pro Tools

### 日本語版

Version 1.11

---

1. 概要 .....	3
2. DM-3200 及び Pro Tools の設定 .....	3
2.1 DM-3200 の設定 .....	3
2.2 Pro Tools の設定 .....	3
3. LCD 画面 .....	4
3.1 チャンネルグループ 1-8/9-16 画面の切替 .....	4
4. チャンネル機能 .....	5
4.1 エンコーダー .....	5
4.2 リング LED の表示 .....	5
4.3 Rec function .....	6
4.4 SOLO キー MUTE キー .....	6
4.5 フェーダータッチ、フェーダー .....	6
4.5.1 ステレオフェーダー操作 .....	6
5. トップパネルキー .....	7
5.1 LCD .....	7
6. トランスポート .....	8
6.1 レコーディング .....	8

## 1. 概要

本マニュアルは DM-3200 コントロール・サーフェースを使用した HUI エミュレーションによる Pro tools コントロールについて述べられています。

Pro tools 6.9.2 のコントロールをリファレンスとしています。

## 2. DM-3200 及び Pro Tools の設定

### 2.1 DM-3200 の設定

DM-3200 の REMOTE > EXT.CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から HUI Emulate を 2 つ追加します。

同様に REMOTE > MACHINE CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から HUI Emulate を 1 つ追加します。デバイス登録後、トランスポート機能を有効にする為に TRA 部分のラジオボタンをチェックする必要があります。

### 2.2 Pro Tools の設定

Pro Tools メニューバーの設定 > ペリフェラルをクリックしてペリフェラルウィンドウを開き、MIDI コントローラータブを選択します。

#1, #2 のタイプに HUI を選択します。受信元、送信先に TASCAM DM-3200, Port5 を選択します。

同様に#2 の受信元、送信先に TASCAM DM-3200, Port6 を選択します。

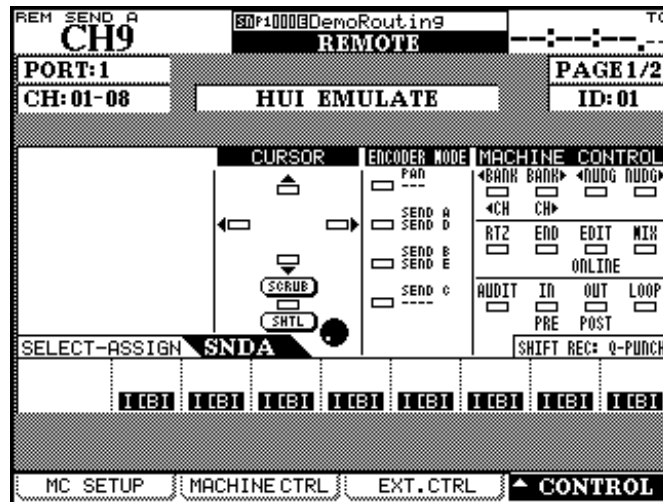
下記の画面の様になります。



適切な設定が行われなかった場合や一旦設定したあと DM-3200 の接続が切り離された場合、Pro Tools は警告メッセージが表示されます。

### 3. LCD 画面

HUI Emulate の LCD 画面は以下の画面になります。



#### 3.1 チャンネルグループ 1-8/9-16 画面の切替

HUI Emulate 画面は 8 チャンネル単位に切替できます。チャンネル 1-8/9-16 の切替は下記のように行います。

- REMOTE 画面による切替  
POD キー 4 を使用して CONTROL プルアップメニューから表示するチャンネルの選択を行います。
- パラメータ操作による切替  
下記のパラメータを操作することで表示画面を切り替える事ができます。

パラメータ	表示チャンネル	注記
SEL キー	Ch1-8	Ch1-8 画面が表示されます
	Ch9-16	Ch9-16 画面が表示されます
SOLO/MUTE キー *1	Ch1-8	Ch1-8 画面が表示されます
	Ch9-16	Ch9-16 画面が表示されます
フェーダータッチ	Ch1-8	Ch1-8 画面が表示されます
	Ch9-16	Ch9-16 画面が表示されます

\* 1 OPTION > PREFERENCE 画面の"CH SOLO Key Auto MODULE Return"がチェックされている時のみ切り替わります。

## 4. チャンネル機能

チャンネル機能は以下の様に対応します。

DM-3200	Pro Tools 機能	注記
Ring Encoder	Encoder	パンやセンドレベルのコントロールをします
Ring LED	Ring LED	リングエンコーダーを操作する事によって変更されたパラメータ情報のレスポンスが Pro Tools から返ってくる事によってリング LED の点灯を行います
Rec function LED	Rec/Ready LED	各トラックのレコードステータスを表示します
Solo	Solo	トラックのソロオン：オフ設定をします オン時、SOLO LED が点灯します
Mute	Mute	トラックのミュートオン・オフ設定をします オン時、MUTE LED が点灯します
トラックフェーダータッチ		トラックフェーダータッチ
トラックフェーダー		トラックフェーダー
マスターフェーダータッチ	---	HUI プロトコルにマスターモジュールはありません
マスターフェーダー	---	HUI プロトコルにマスターモジュールはありません

### 4.1 エンコーダー

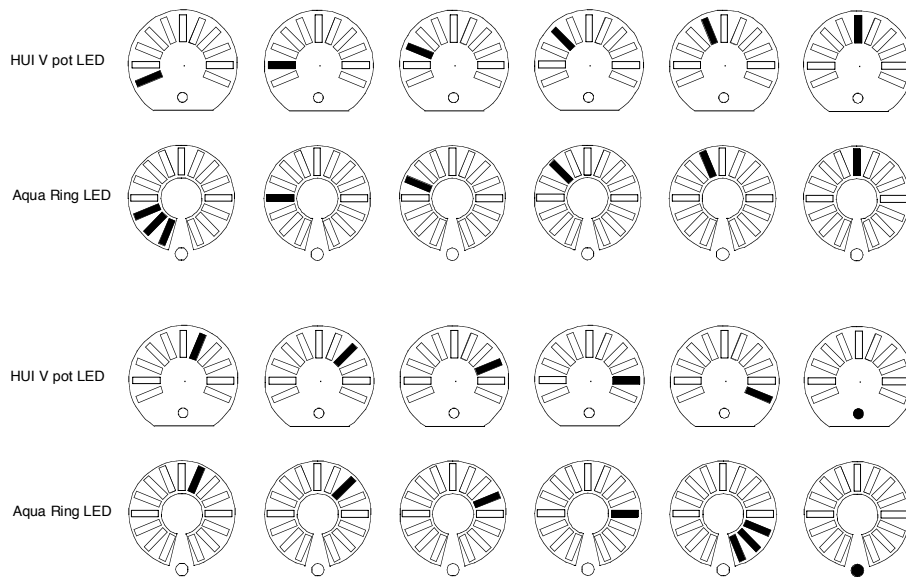
エンコーダで操作するパラメータはトップパネル上の ENCODER MODE セクションにて選択されます。ミキサー上のエンコーダーを操作することで Pro Tools の割り当てられたパラメータがコントロールされます。コントロールされるパラメータ、トラック名などが LCD 画面に表示されます。



Pro Tools から送られてくるメッセージ情報の表示

### 4.2 リング LED の表示

DM-3200 は 15dot のリング LED を持っていますが、HUI protocol では 12dot しかありません。下記の様な表示となります。



Pro Tools から送られてくる 12dot LED に対する表示

### 4.3 Rec function

DM-3200 の REC キーを押しながら SEL キーをオン・オフする事で各トラックのレコードレディのオン・オフ設定を行う事ができます。この時 REC LED の点灯は Pro tools からのレスポンスにより行われます。

### 4.4 SOLO キー MUTE キー

DM-3200 の SOLO キー、MUTE キーをオン・オフする事で各トラックの MUTE, SOLO 操作を行う事ができます。この時 SOLOLED, MUTE LED の点灯は Pro tools からのレスポンスにより行われます。

### 4.5 フェーダータッチ、フェーダー

DM-3200 の各フェーダーをタッチする事で Pro Tools にタッチコマンドを送ります。DM-3200 のフェーダー操作によって Pro Tools の各トラックのフェーダーコントロールができます。

HUI プロトコルはマスターフェーダーを持たないのでマスターフェーダータッチ、フェーダー操作に対してのレスポンスはありません。

#### 4.5.1 ステレオフィーダー操作

リモートレイヤー時には DM-3200 のステレオフィーダーは-∞位置へ移動します。

リモートレイヤー時にステレオフィーダーが操作されても Pro Tools の操作はされません。

## 5. トップパネルキー

トップパネルキーの機能は以下の様に対応します。

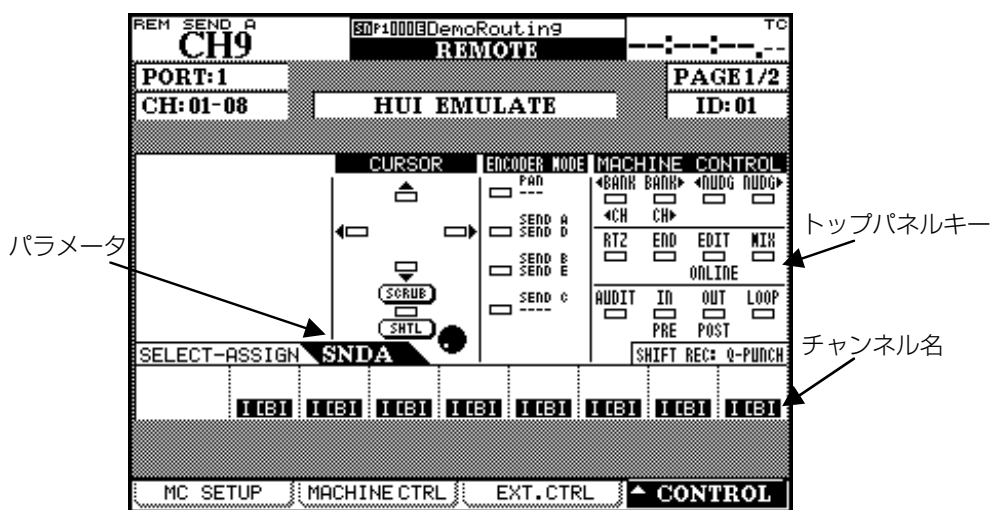
カテゴリー	DM-3200	Pro Tools 機能	注記
エンコーダーモード	Flip	Flip	リングエンコーダー操作対象パラメータとフェーダーレベルをフリップします
	Pan	Pan	リングエンコーダーによってコントロールされるパラメータをパンに設定します
	Send A-E	Send A-E	リングエンコーダーによってコントロールされるパラメータをSEND A-Eに設定します
Global	Shift	Shift/Add	様々なキーの補助キーとして機能します
	CTRL	CTRL/Clutch	様々なキーの補助キーとして機能します
Around LCD	上カーソル	Up	HUIの上カーソルキーとして動作
	下カーソル	Down	HUIの下カーソルキーとして動作
	左カーソル	Left	HUIの左カーソルキーとして動作
	右カーソル	Right	HUIの右カーソルキーとして動作
	Jog/Shuttle	Scrub	スクラブモードのオン・オフを行います
	Shift+Jog/Shuttle	Shuttle	シャトルモードのオン・オフを行います
	データホイール	Data wheel	HUIのデータホイールとして動作
LCD	-	Display	HUIからのレスポンスにより文字など表示する

### 5.1 LCD

コントロールされるパラメータはLCD画面に表示されます。

各トラック名、情報、入出力先などトラック名表示部へ表示されます。

これらの表示は Pro tools1 からのレスポンスにより表示をしています。キーによっては操作対象では無く操作のガイド的なものが表示される場合もあります。



## 6. トランスポート

トランスポートの機能は以下の様に対応します。

DM-3200	Pro Tools 機能	注記
トランスポートキー	Transport	Rewind, Fast Forward, Stop, Play, Record 操作を行います
Shift + Record キー	Quick Punch	クイックパンチ・インモードのオン・オフを設定します
< Bank, Bank >	< Bank, Bank >	コントロールトラックを左右に 8 トラック単位で移動します
Shift + <Bank / Bank >	< Channel / Channel >	コントロールトラックを左右に 1 トラック単位で移動します
< Nudge, Nudge >	+, -	次、又は前のリージョンへ移動します
<< Locate, Locate >>	RTZ, END	ソングの最初のポイント又は最後のポイントへジャンプします
F7	Online	オンラインのオン・オフ設定を行います
RHSL	Audition	オーディション・モードの設定を行います
In	In	クイックパンチインポイントをオン・ザ・フライで設定します
Shift + In	Pre	プリロール・タイムをオン・ザ・フライで設定します
Out	Out	クイックパンチアウトポイントをオン・ザ・フライで設定します
Shift + Out	Post	ポストロール・タイムをオン・ザ・フライで設定します
Repeat	Loop	プレイバック・ループ設定をします

### 6.1 レコーディング

DM-3200 の RECORD キーをホールドしながら PLAY キーを押すことでレコーディング・アクティブ状態になります。この状態の時に PLAY キーを押すとレコードレディになっている全てのトラックがレコード状態になります。

レコーディング中に PLAY キーを押すとパンチアウトされ Pro Tools はプレイ状態を保ちます。